

第2回ふれあい懇談会懇談要旨

- 開催日時 平成29年11月19日（日） 14時～16時
- 開催場所 我孫子南近隣センター
- 参加者 20名
- 出席者 星野市長、川村総務部長、大畑企画財政部長、四家市民生活部長
渡辺環境経済部長、大谷建設部長、渡辺都市部長、他管理職12人
- 懇談要旨

市民：若者の定住化の話がありましたが、職場に行くまでの常磐線のアクセスを良くしてほしい。上野東京ラインの中で常磐線だけが東海道線に繋がっていません。

これから改善される見通しがあるのかどうか。出勤時間帯に柏駅停まりの特急が1本もない、今後、市がJRに働きかけがあるのかどうかご意見いただきたいと思います。

市長：我孫子の発展は、成田線・常磐線の開通で120年、住宅地として今の状態があるのは、成田線や常磐線が通っているからだと思っています。東京支社や千葉支社と交渉を公的にも私的にも沿線の市長では一番していると思っています。交渉で必ず言われるのが利用客数の減少です。天王台駅で10年前は23,000人でしたが、近年では20,000人を少し超えるぐらいです。民間企業となったJRとしてはなかなか思うようにはいかない状況です。また、柏駅の乗降者数は県内でも1・2位を争うほどの数です。

10月のダイヤ改正では、上野・東京ラインへの増発を他の路線でなく常磐線に全て当てられました。常磐線は品川駅までと決められていますので東海道線への乗り入れは出来ませんが、東海道線を常磐線取手駅まで通してほしいという交渉を続けていて、結果は同じであるという話をしています。我孫子駅に停車しない特別快速を廃止して我孫子駅・天王台駅に停車する本数を増やしてもいい時期なのではないか等、これまでもいろいろな話を交渉の場でしてきたことは理解していただきたいと思います。これからも取手市・柏市・松戸市の市長と一緒に働きかけると、県知事にもお願いし、一緒に働きかけをしていきたいと思っています。

交通手段だけではなく若者の定住化に向けた事業の保育園の待機児童ゼロを維持することやあびっこクラブ・学童保育、住宅補助など進めていきます。

また、高齢者になっても住みやすい住環境を進めていきます。

市民：災害について、震度6程度の地震が来たらどの位の家屋が倒壊するのか、また、雨量は分かりませんが、大雨によって利根川の我孫子側が決壊した場合、何メートル位になるのか水に浸かるのがどの程度か想定出来たらお願いします。

市民生活部長：現在、我孫子市には活断層はないと聞いております。

なお、我孫子市の震災の想定震度は震度6強までは、起こると想定しています。その場合、約2割の家を失うだろうと想定しています。その想定をもとに市では備蓄をしております。家屋の倒壊については、特に昭和55年以前に建築し耐震診断未実施の家は、かなりの被害が出るだろうと想定しています。

洪水の件につきましては、今年、7月に国土交通省から利根川の洪水想定が出されました。その中では、利根川が決壊した場合約5m、2階建て家屋が水に浸かってしまう程度と想定しています。現在市では、防災マップの見直し作業をしております。来年度3月までに出来上がります。各自治会を通じて全戸配布する予定です。不明なことがありましたら、市民安全課までお問合せ下さい。

市長：我孫子市内で356号沿いは5m以上のところに立っていますので水没しないエリアです。しかし、あくまでも利根川が決壊した場合の想定です。これまで我孫子市側の堤防は決壊しないよう国に強化工事を要望し、実施して準備をしております。現在は、越流堤を超えた水の調整池機能のある北新田での後田地先の堤防の補強工事を実施していきます。

地震に関しては、我孫子は地盤が強く、関東大震災の時も家屋が倒壊するような大きな被害はなかったと聞いています。現在の対策は茨城県南部を震源とした大きな地震に対して我孫子に被害があるかと想定していますが、我孫子市の震度計のある市役所の震度計では、周りの震度の発表よりも1から2ほど低い震度となっていることから分かるように、地盤は強いといえると思います。震災に弱いのは戦後の住宅地の埋め立てた住宅地、東日本大震災でも被害のあった住宅地が我孫子市内で弱いところだと思っています。

市民：文化交流施設の検討の中で合築案とはどういうことか、説明してください。

市長：特に文化団体の皆さんや学校の発表会・成人式などで使う、文化施設として500人以上の、出来れば800人程度収容できる施設が望まれている事は承知し

ています。合築案というのは、文化会館が無いと他の公共施設と市で一番古い市役所庁舎と一緒に建築することです。ご存じのように、第三者に調査委託して文化会館を建てるにはどの場所がいいのかということで候補地として、手賀沼のほとり水の館近辺といった報告書をいただきました。その時点ではまだ水の館は県所有でしたが、現在は、我孫子市所有の施設となりました。市役所が駅から遠くなりますが、文化会館の場所としてはロケーションも良くいい場所と思っておりますが、今後は、そこに市役所と一緒に合築していいのか等、市民の皆様のご意見を聞きながら検討していきたいと考えております。

市民：JRの駅でバリアフリー化が未完成なのは市内では我孫子駅だけと思いますが、取り残されないようにぜひ進めていただくようよろしくお願いします。

水の館についてですが、レストランの方は順調だと思っておりますが、物販の方の品切れが目立ちます。買いに来た人ががっかりしない、お客さんの期待を裏切らないようよろしくお願いします。

市長：我孫子駅の改修は、私が市長就任した当初にまず我孫子駅から手がけようと思いましたが、ご存知のような経過で進められませんでした。結果、新木駅の改修を先に実施いたしました。今は、我孫子駅の改修をするためにJRや市等の負担割合や、先ずホームに降りるためのエレベーター設置をしていただけるよう進めています。

水の館の直売所につきましては、移転する前の「あびこん」では、50軒の農家の参加でしたが、今は100軒の参加があります。市では、利益を出そうとは考えず消費者の皆さんにその分還元してもらいたいと思っております。地元の農家が作った取り立ての旬の野菜のおいしさを知ってもらいたい。そのために、子供たちの給食にも我孫子産米や野菜の日を設けて提供しています。地元のものだけではなく、踊り子号つながりで下田の魚を置いたり、逆に下田に我孫子の野菜を置いてもらっています。

我孫子市にとって農家・農地を大切にしていけるためにも、これからもいろいろ考えていきたいと思っております。

市民：重点施策で地域コミュニティ活性化の推進で地域会議の推進とありますが、この近隣センターはビルの9階で地域の人がコミュニティーの場所として近隣センターがあると気が付くのだろうか。地域で自分たちがどうするのか、本当に地域

の事を考えているのだろうか、高齢化が進んでいる、自治会の会長さんも2・3で変わってしまうところもある中で、この地域会議を本気で考えうまくいっているところがあるのでしょうか、紹介してください。

市民生活部長：我孫子市では平成25年に基本方針を作ってこれまで進めてきました。

これまでに、久寺家地区・新木地区・天王台南地区・天王台北地区・我孫子北地区の5か所で立ち上がりました。地域会議のメンバーは、自治会・PTAや地元で活動している団体など地域にかかわっているいろいろな人たちが組織化を図るということではなく、一つのテーブルに集まってそれぞれの活動の情報を共有化することで地域の課題が解決できるのではないかとということで事務局を各近隣センターを運営しているまちづくり協議会にお願いして始まっています。

具体的には、課題解決のため、久寺家地区では、地域の課題を出し合い、その課題をもとに便利帳を作成したり、高齢者のための買い物のお手伝いや、ラジオ体操を復活したなどがあります。天王台北地区ではゴミのカラス被害に取り組みました。

新木地区・我孫子北では防災について取り組んでいます。

いずれにしても地域のいろいろな人が集まって進めていくことですので、何回も集まって話すことで一歩でも進んでいけばと思っています。

市民：我孫子ゴルフクラブで行われた日本女子オープンゴルフについて、また、我孫子で開催することがあるのか、経済効果などどのように総括をしているのか。

市長：主催者はJGAです。我孫子ゴルフクラブは会場となっただけです。大会の開催は3年先まですでに決定していますが、今後も主催者に対して我孫子ゴルフクラブが開催地として手を挙げていただきたいといった話はさせていただいております。その際には当然市も協力させていただきますと話してあります。

経済効果については分かりませんが、NHKの放送で「我孫子」と何回も連呼していただいたのは、全国的にPRできたと思っています。

市民：少し残念に思っていることがあります。一つは水の館がリニューアルし、あびこんが出来たことにより今まであった展示が無くなってしまったことが残念に思っています。子供たちや観光客に対しても、我孫子の自然や文学について学

ぶ場として大切にしてほしいと思っています。

もう一点は、桜プロジェクトでライトアップした夜桜見物がありましたが、出店があるとHP書いてありましたが、実際行ってみたら無かった、その辺のところの告知についても改善したらと思います。

市長：水の館の展示につきましては、手賀沼の水質が最悪の時に県が水質浄化など啓発するために千葉県が建てた施設でした。

水質改善がピーク時に比べ1/4以下と進んだ今、トライアスロンができたりヨットがあつたりと水質もずいぶん改善してきました。

1階の展示に行く人がいなくなりました。今は展示するスペースは減らしましたが、リニューアルしたことや来館者増えることで見ていただくことができます。

また、水質浄化の啓発のため10年間残すことが千葉県との約束となっています。夜桜につきましては、申し訳ありませんでした。商工会の協力により行いましたが、当日はあまりの寒さだったことなどから出店できなかったと思います。出店については、今後も継続しますが、水の館のレストランなども開けられるよう交渉していきたいと思いますのでぜひ来春も見学においでください。

市民：文化連盟の活動をしていますと、市外の方からよく聞かれるのが我孫子のお土産はどこに行ったら買えるのか一軒一軒回るのも大変です。アビシルベやあびこんに行けば産品やTシャツなどみんな揃っていると紹介しやすいです。

環境経済部長：我孫子のお土産は駅のそばのアビシルベにTシャツやふるさと産品があります。あびこんの方ではアンテナショップ時の約2.5倍のスペースに広がり多くのふるさと産品を揃えております。また、鳥の博物館内のミュージアムショップでは、そこでしか買えないオリジナル商品を揃えていますので、ご利用ください。

市長：我孫子のお土産は、なかなか難しいですが、今年は、メヌエットさんの農林水産大臣賞のレモンバームとふるさと納税で好評な鈴木さんのコーヒーをお土産に持っていくようにしています。これからもいろいろな物がお土産としてできるように、お菓子組合や各店舗に考えていただき、PRしていきたいと思っています。